

◆講演会特集

今号は6、7月に実施した講演会や4年ぶりとなる西オーストラリア語学研修についてお伝えします。

生き方を考える講演会(第1学年)

7月12日(水)、前田良さんをお招きし、生き方を考える講演会を実施しました。前田さんは兵庫県に「女性」として生まれた方で、幼少期より心の性と体の性の不一致に悩んでこられました。

大人になって、性別を「男性」に戻して結婚され、2児を授かるも、公的には、親子関係が認められません。長い裁判を経て最高裁で親子関係が認められ、現在は各地で講演活動を行っています。講演の中では、前田さん自身のこれまでの人生経験に基づき自分らしく生きること、自分とは異なる価値観の人と出会ったときにその人の価値観を尊重すること、自分の価値観を押し付けないことの大切さなどを話されました。

この講演については7月18日(火)の神戸新聞に掲載されていますので、ぜひご覧ください。



▲前田 良さん



▲花束贈呈



▲齊藤眞智子さん

性教育講演会(第2学年)

6月21日(水)に助産師の齊藤眞智子さんにお越しいただき、「大切な心と命、高校生の生と性」というテーマで2年生を対象にご講演をいただきました。本校での講演は今回で20回目で、男女の性やデートDV、LGBTQなどについて動画等を用いてわかりやすく説明していただきました。

【生徒の感想より】

・性は男女間において考えが少し違うことがわかりました。デートDVは周りからはわかりにくいので、もし被害にあっても自分だけで悩まないように誰かに相談したり、誰かから相談を受けた時には真剣に相談にのれるようにしようと思いました。

・自分を守る行動が自分の大切な人も守ることになるということがわかりました。大人になったら自分の行動は自分で責任を持たないといけなくなるので、正しい知識を持ち、正しい選択ができるような人になりたいです。



▲謝辞の様子



▲橋本 みさ子さん



▲謝辞の様子

がん教育講演会(第3学年)

7月18日(火)に姫路医療センター 緩和ケア認定看護師の橋本みさ子さんにお越しいただき、がん教育講演会を実施しました。がんの原因、予防法、早めに検診を受けることの重要性、がんになってからの治療方法などを詳しく説明していただきました。治療の一つである緩和ケアについては、本人と家族の心と身体を支える生きていくためのケアであり、生き方を向上させるために痛みを和らげる治療であることにも触れていただきました。

講演の最後に命の大切さとどうやって大切にすることをお話をしていただきました。

お互いに感謝の言葉を伝え、お互いにもないものを補い合い、人に優しくすることが大事なのではないかということを生徒たちに伝えていただきました。

4年ぶりに実施!!

西オーストラリア大学短期語学研修!!

新型コロナウイルス感染症により見合わせていた「西オーストラリア大学短期語学研修」が4年ぶりに実施します。

期間は7月28日(金)~8月5日(土)まで、本校からは1年生1名、2年生2名、3年生1名の5名の生徒が参加します。

4年間の空白期間がありましたが、生徒が自らの英語力の向上と異文化理解に興味を示してくれたことに頼もしさを感じます。

「生きた英語」を学習し、日本ではできない貴重な経験をたくさんしてきてほしいと思います。

また、7月21日(金)、いっしょに参加する近隣3校の高校生とともに本校同窓会館で結団式を行います。

9日間の短い期間ですが、一回りも二回りも大きくなって帰ってきてほしいと思います。



救急法講習会

7月13日(木)、部活動の代表生徒各2名と顧問が救急法の講習を受けました。

学校医の井上先生と西はりま消防組合 宍粟消防署の6名の職員の方々に来ていただきました。

井上先生の講話の後、消防の方から説明を受け班に分かれて実践練習を行いました。

救急車到着までに行える心臓マッサージの方法やAEDの使用法など救命処置の方法を、詳しく教えていただきました。

急病や事故に備え一次救命処置を行うために大切な知識と技術を学ぶことができました。



▲講習の様子



▲AEDを使った訓練

